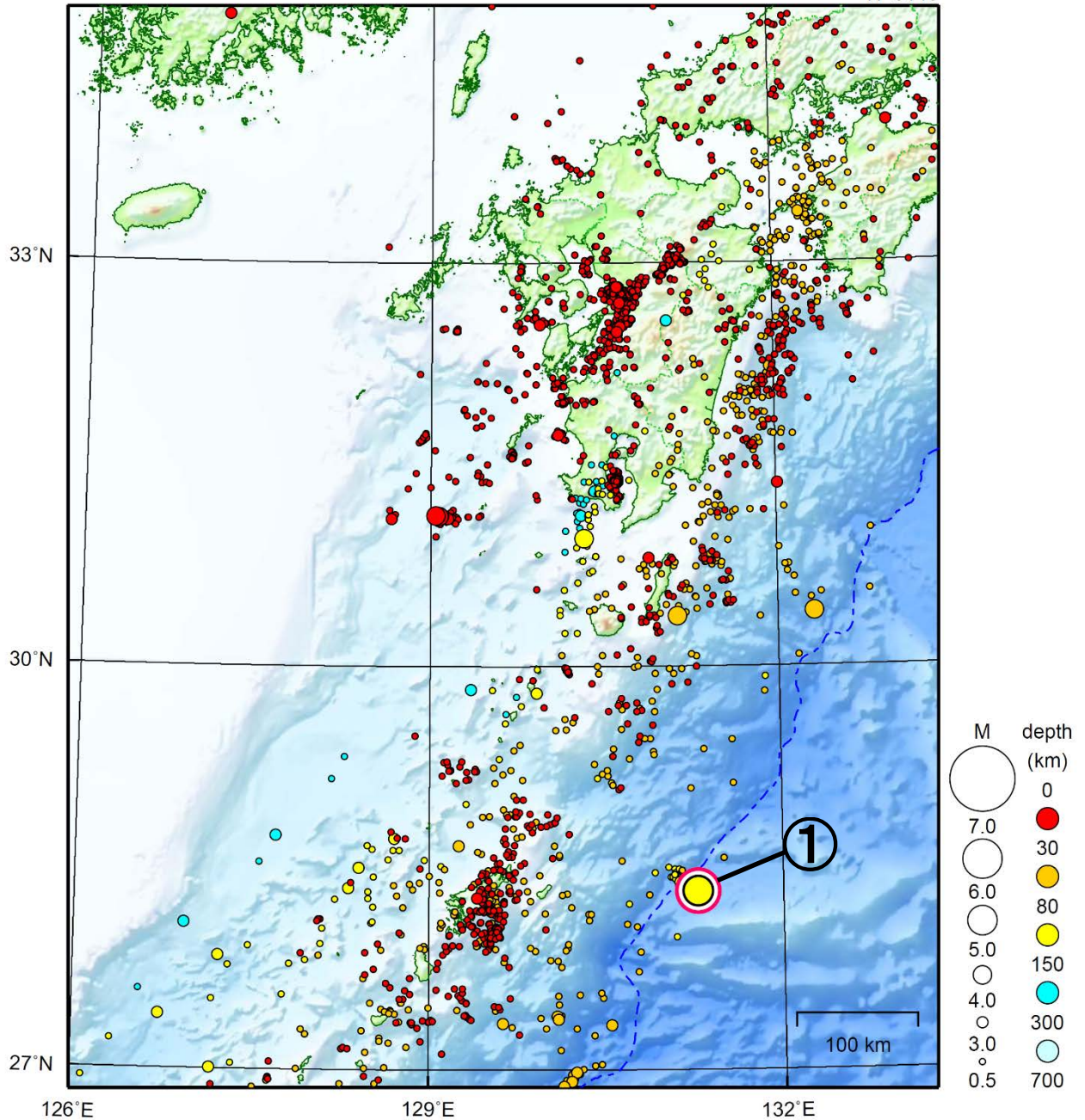


九州地方

2017/10/01 00:00 ~ 2017/10/31 24:00

N=3148



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

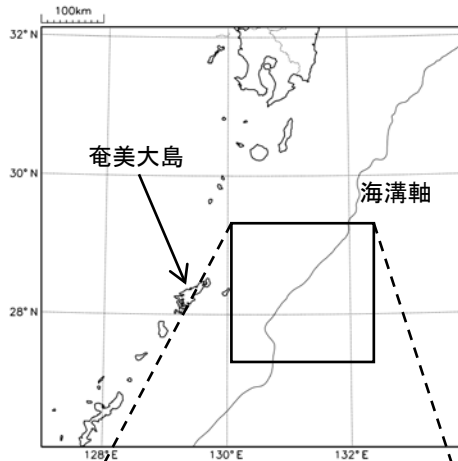
① 10月19日に奄美大島北東沖でM5.6の地震（最大震度3）が発生した。

（上記期間外）

11月1日に鹿児島湾でM3.8の地震（最大震度4）が発生した。

〔上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

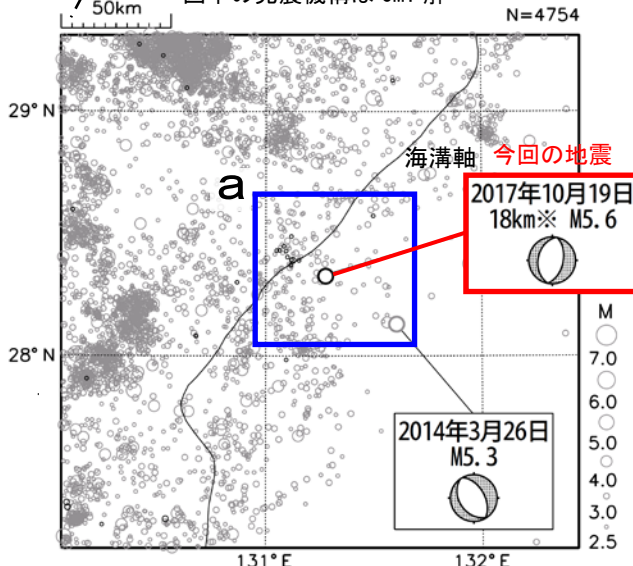
10月19日 奄美大島北東沖の地震



震央分布図

(1997年10月1日～2017年10月31日
深さ0～120km、 $M \geq 2.5$)

2017年10月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



※今回の地震の深さはCMT解による
震央分布図

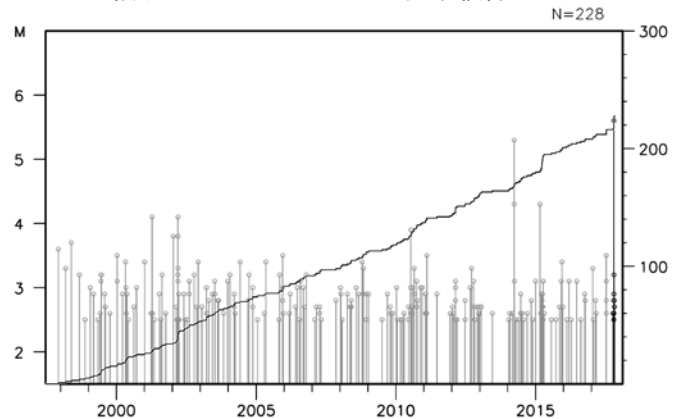
(1923年1月1日～2017年10月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)

2017年10月19日18時02分に奄美大島北東沖の深さ18km (CMT解による) でM5.6の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は南西諸島海溝付近のフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は、東西方向に張力軸を持つ正断層型である。

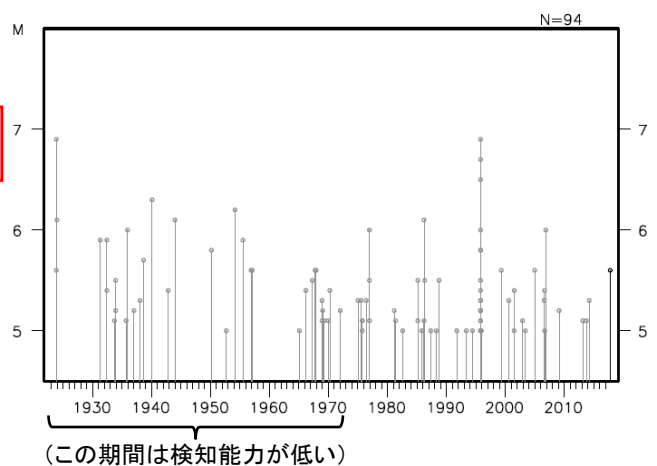
1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、M4.0以上の地震が時々発生しており、2014年3月26日にもM5.3の地震 (最大震度3) が発生した。

1923年1月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M6.0以上の地震が時々発生している。1995年10月18日に発生したM6.9の地震 (最大震度5) では、鹿児島県の喜界島で約2.7mの津波 (遡上高) を観測するなど喜界島や奄美大島で小型船舶の破損や転覆等の被害が生じた (験震時報による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)